

5・6号設備運用状況

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	11月		12月			1月			2月	3月	4月	5月	6月以降	備考
				20	27	4	11	18	上	中	下	前	前	前	前	前	
5・6号設備運用状況	運用管理	1. 設備維持	DG、冷却設備等の維持 (実績) 計画的な点検の実施 (予定) 計画的な点検の実施	現場作業 6号機計画点検予定(2022年7月~2023年5月)												5、6号機の設備維持に必要な計画点検の実施。 ・5号機計画点検予定時期：2023年10月~2024年4月 <現在の状況> 2021年11月11日：D/G5A試運転時に過給機出口配管フランジ溶接部のき裂より排気ガス漏えい事象を確認し、当該配管の交換を順次実施。 D/G5A：2022年1月に実施済 D/G5B：2022年4月に実施済 D/G6A：2022年9月に実施済 ・6号機計画点検時期：2022年7月~2023年5月(P/C6D取替による工程変更) <今後の対応> 上記の水平展開としてD/G6Bの過給機出口配管交換を2023年3月実施予定	
		2. 使用済燃料の冷却	5号機使用済燃料の冷却 (実績) 使用済燃料の冷却継続(2015/6/1使用済燃料プールへの燃料移動完了) (予定) 使用済燃料の冷却継続	現場作業												(継続運転) 5号使用済燃料プールからの取り出しについては、1-3号機使用済燃料プールからの燃料取り出しのスケジュールに影響を与えないよう実施予定。	
		6号機使用済燃料の冷却 (実績) 使用済燃料の冷却継続(2013/11/29使用済燃料プールへの燃料移動完了) (予定) 使用済燃料の冷却継続	現場作業													(継続運転) 6号使用済燃料プールからの取り出しについては、1-3号機使用済燃料プールからの燃料取り出しのスケジュールに影響を与えないよう実施予定。	
		3. 滞留水の処理	建屋滞留水移送・処理 (実績) ・滞留水移送・処理 (予定) ・滞留水移送・処理	現場作業												(継続実施) 建屋内の滞留水を屋外タンクに移送後、RO装置・浄化ユニットにて処理後、構内散水。 <運用状況> ・浄化ユニット：(A)・(C)・(D)運転中 / (B)待機中 ⇒2021年11月22日 浄化ユニット(A)移送ポンプメカリーク発生。 浄化ユニット(B)は吸着塔の詰まりがあるため、2021年12月中旬に浄化ユニット(B)移送ポンプと浄化ユニット(A)移送ポンプを入替済メカシール納入後、浄化ユニット移送ポンプ(A)~(D)の点検を予定。 (工期：2022年8月~2022年11月) ⇒2022年9月21日~浄化ユニット移送ポンプ(B)・(D)点検開始 ※10月6日試運転予定 ⇒2022年11月 浄化ユニット移送ポンプ(A)・(B)・(C)・(D)点検完了 <今後の対応> ・浄化ユニット：5・6号機建屋内滞留水処理を継続する。	
		4. 5・6号サブドレン設備の運転	5・6号サブドレン設備の運転 (実績) ・運転 (予定) ・運転	現場作業												(継続運転) ・2022年3月28日~：5・6号サブドレン運用開始(日中帯運転) ・2022年4月14日~：5・6号サブドレン24時間運転開始(処理量：1~4号サブドレン集水設備に約100m3/日移送) ・2022年4月14日~2022年5月19日：処理量変更 約100m3/日 → 約200m3/日 ・2022年5月19日~2022年6月6日：処理量変更 約100m3/日 → 約200m3/日 ・2022年6月6日~：処理量変更 約200m3/日 → 約250m3/日 ・運用中のビット：11/13(箇所) ・現在運転停止中のサブドレンビット(No.87.89) ・2022年12月12日~21日：計画点検に伴い、5・6号サブドレン集水設備全停	
5. 新燃料の搬出	6号機の新燃料の除染・搬出 (実績) ・解体・除染・再組立 (予定) ・解体・除染・再組立	現場作業												新燃料11体の解体・除染・再組立	・2018年4月24日：実施計画変更認可申請 ・2018年10月22日：実施計画変更認可 ・2018年8月下旬：搬出準備作業を開始。 ・2019年9月下旬：解体・除染作業再開(準備作業含む) ・2019年11月25日：新燃料除染作業における燃料棒の曲げ事象が発生し、作業中断。 ・2020年4月8.9日：健全燃料棒71本を除染・再組立てしNFVに収納。 ・2020年4月22日~24日：曲がり燃料棒の曲げ戻し作業を実施。 ・2020年4月27日：曲げ戻した燃料棒(1本)を71本の健全棒が挿入された燃料集合体に挿入、新燃料貯蔵庫に収納。 ・2020年11月27日：今年度予定されていた解体・除染作業15体終了。 ・2021年1月29日：解体除染で発生した廃棄物(部材等)の減容作業終了 ・2021年7月12日：プール外への新燃料搬出時に経由するチャンネル着脱機の使用前点検で不具合発見 ・2021年度の解体・除染の時期について2023/1に変更。 ・チャンネル着脱機の上昇機能を用いない治具等を製作済 ・2023年1月にプール内の11体の新燃料(国産品)の解体・除染・再組立を実施しNFVへ収納予定。これにより残りは海外品56体となる。		
		6号機に貯蔵中の4号機の新燃料の洗浄・搬出 (実績) ・洗浄(線量測定のみ) (予定) ・洗浄	現場作業											・2021年12月：洗浄装置設置終了 ・2022年1月：洗浄開始(線量が低いいため、線量測定のみ実施中) ・2022年3月24日 180体の線量測定完了 線量が低いため洗浄は実施せず			

福島第一原子力発電所 5・6号機の現状について

(5・6号機低レベル滞留水の状況)

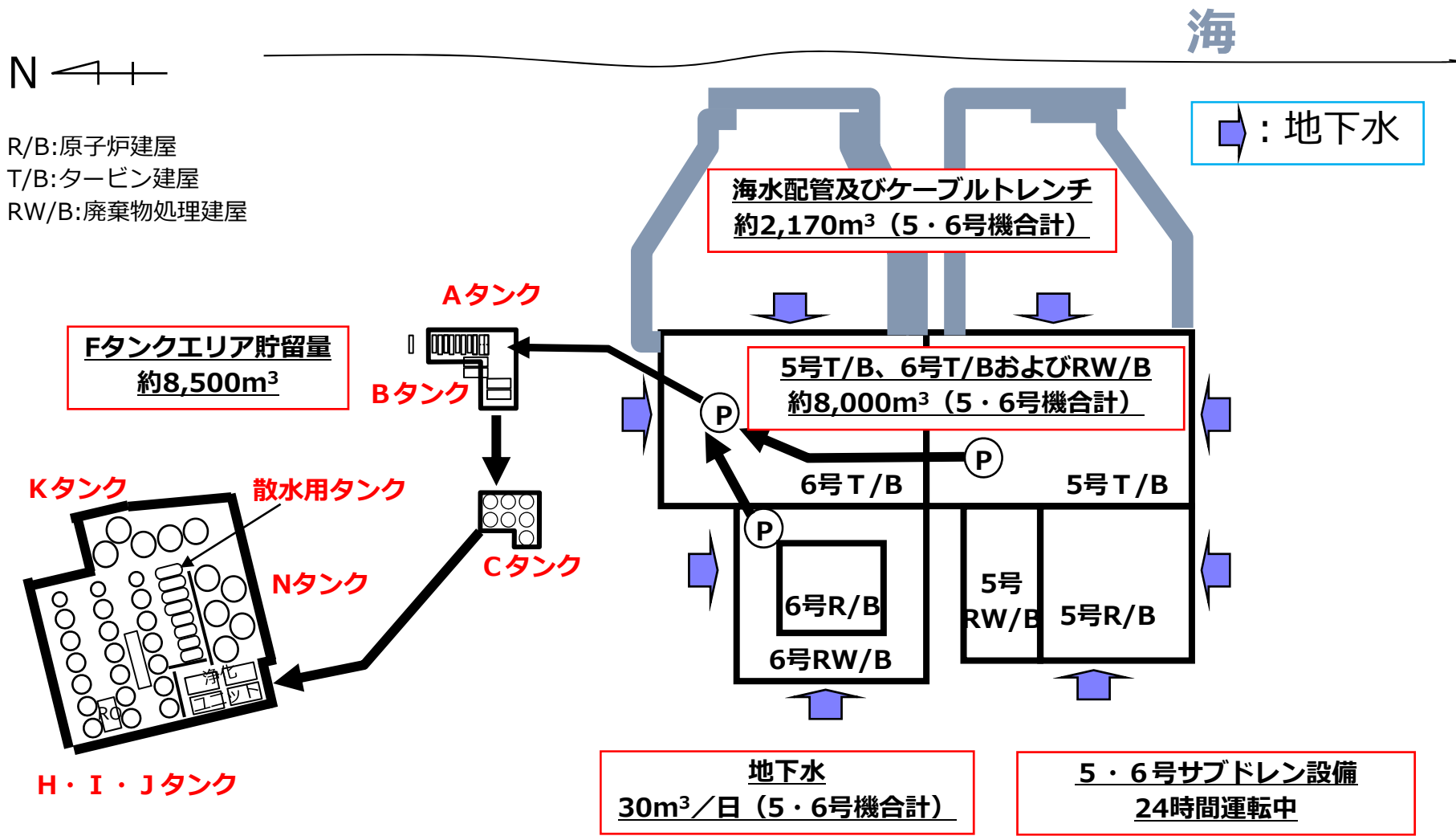
2022年 12月 22日

東京電力ホールディングス株式会社

TEPCO

1. 5・6号機 低レベル滞留水量※1の状況

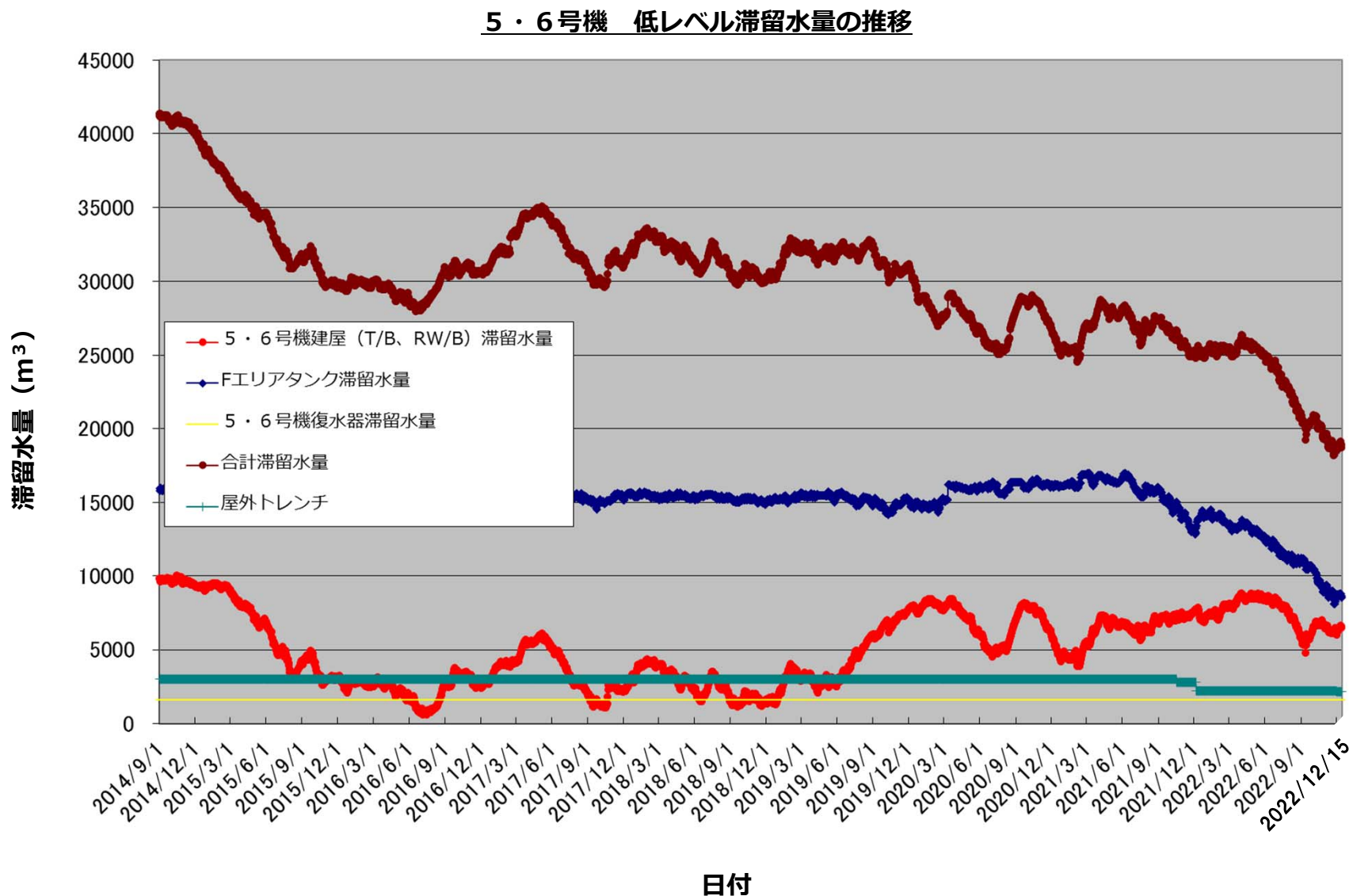
5・6号機 低レベル滞留水量の合計約18,670m³ (2022.12.15現在)



※1 : 5・6号機滞留水は、1-4号機滞留水と比べ放射能濃度が十分低いため、区別する目的で「低レベル滞留水」と記載する。

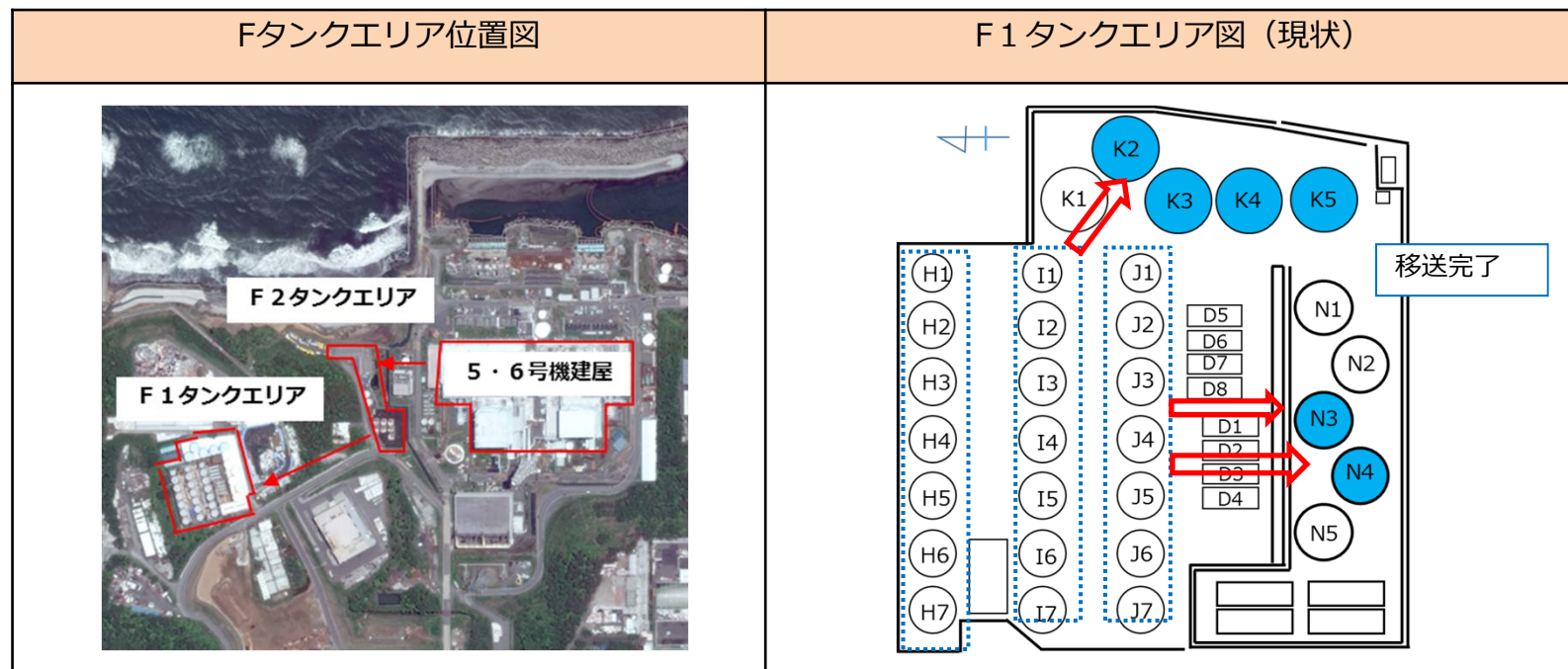
2. 5・6号機 低レベル滞留水量の推移

- 2014年9月から2022年12月までの5・6号機 低レベル滞留水量の推移は以下のとおり

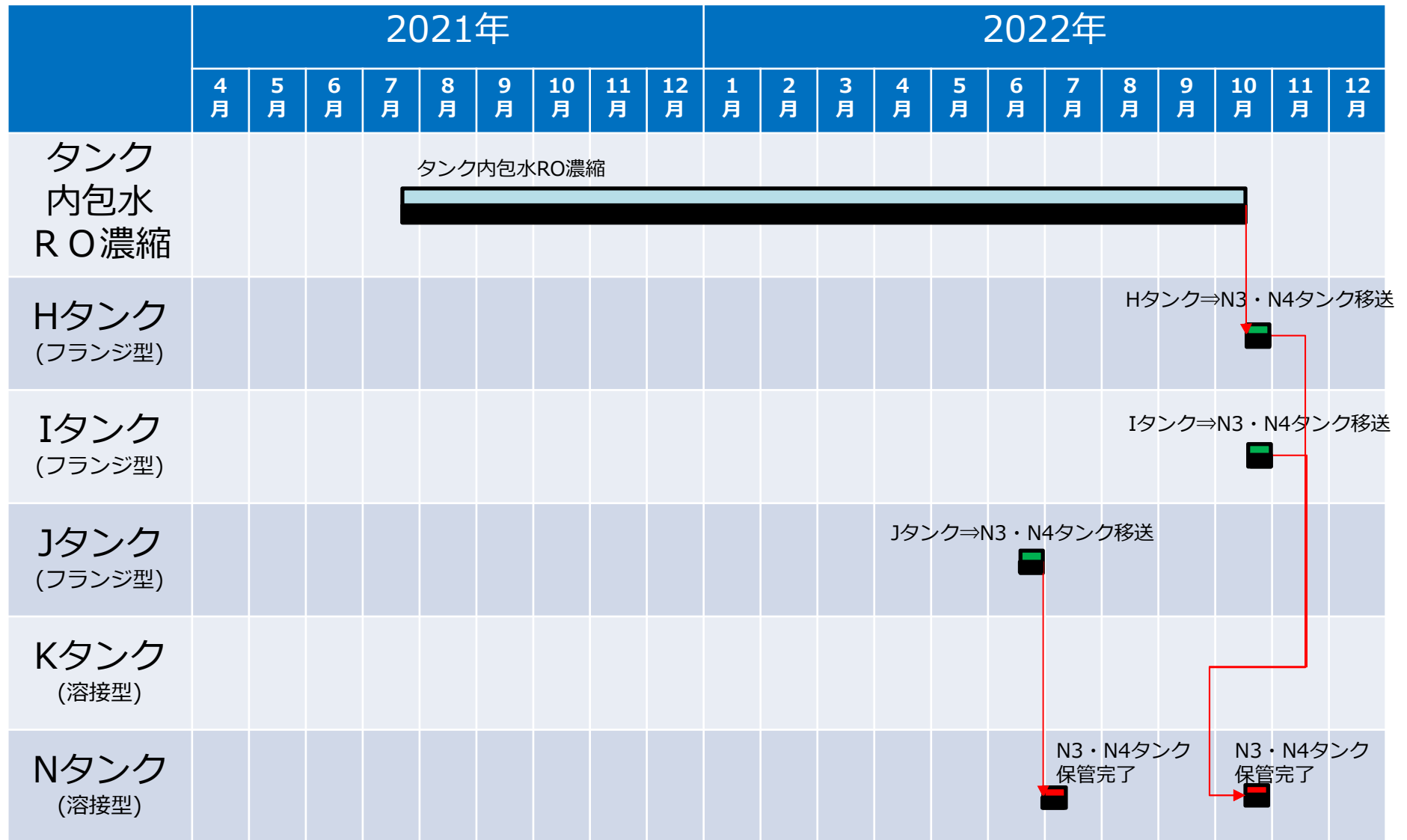


3. F1タンクエリア群フランジ型タンク内包水移送について

- F1タンクエリア（5・6号機滞留水貯留タンクエリア）のH・I・J群タンク(フランジ型)の運用を停止するため、2021年7月より淡水化装置（以下、ROという）によるタンク内包水の浄化処理を開始し、処理済水は構内散水、浄化処理時に発生するRO戻り水を2022年10月末までに溶接タンクへ移送し、保管することになっている。
- 2022年6月20日よりJ群タンクのRO戻り水の溶接タンクへの移送を行い、2022年7月8日に完了。
- 2022年10月20日よりH・I群タンクのRO戻り水の溶接タンクへの移送を行い、2022年10月28日に完了。これにより、F1タンクエリアフランジ型タンク群(21基)のタンク内包水の移送は完了した。



4. F1タンクエリアフランジ型タンク内包水移送スケジュール



■ : 実績線

<参考> 5・6号機 サブドレン集水設備の稼働状況（2022年12月15日現在）

- 5・6号機サブドレン設備は2022年3月28日より運用（移送）を開始
- 現在、計画点検のため全台停止中（2022年12月12日～12月21日）
- 点検終了後、12月下旬に稼働予定

